



会員のページ

このコーナーでは、会員の皆さんの役に立つ情報の提供をおこないたい
と思います。このコーナーに掲載ご希望の方は編集委員長まで。



GEOHAB レポートの無料配布について

1998年10月13日～17日の5日間、SCOR（海洋研究科学委員会）とIOC（政府間海洋学委員会）が共同で、「GEOHAB：Global Ecology and Oceanography of Harmful Algal Blooms」という国際ワークショップを開催した。デンマークのコペンハーゲン近郊、ハーブルホルムに20ヶ国から37名の研究者が集い、我が国からは本稿を書いた福代康夫（東京大学）と今井一郎（京都大学）が出席した。座長はカナダのDr. John Cullenであった。

現在、世界的にHAB（Harmful Algal Blooms）の問題は大きく深刻になって来ており、HABに関する研究を世界的に活性化させる必要が生じている。そのワークショップでは、現在のHAB研究の状況が総括され、問題点が洗い出され、そして今後の研究の方向性を纏める作業がなされた。最終的に「GEOHAB：Global Ecology and Oceanography of Harmful Algal Blooms - A Plan for Co-ordinated Scientific Research and Co-operation to Develop International Capabilities for Assessment, Prediction and Mitigation」というレポートがまとめられ、科学者が同じ目的に向かって世界的共同研究を行う重要性と、その研究の内容が示された。これを受けてSCORとIOCでは、それぞれの執行委員会においてこの研究計画を検討した上、強力に推進することを決めた。この計画実施のためIOCとSCORの了解の下、議長にはフランスのDr. Patrick Gentien、副議長に福代康夫、事務局にコペンハーゲンのIOCセンターのMr. Henrik EnevoldsenとSCORのMs. Elizabeth Gross、及びIP-HAB議長のDr. Adriana Zingone（イタリア）が執行部となるSteering Committee（ステアリング・コミッティー）が組織された。このステアリング・コミッティーには現在11カ国の17名が選任され、すでにSCORとIOCの承認を受けた。

本レポートの内容は、各国におけるHAB研究プロジェクトの立案のための材料や骨子となることが期待されている。また、本計画はSCORとIOCによって実施される研究計画であり、各国文部省など研究推進機関がその重要性を認識して、より一層GEOHAB関連研究に支援を強めることが期待されている。なお、2000年10月頃に第1回のワークショップを開催するべくGEOHAB執行部は準備を進めているところである。

此の度、このGEOHABレポート（A4版、48頁）を増刷したので、以下の要領で申し込めば希望者には無料で先着200名まで配布致します。

- 1) 返信用封筒（角2型：A4版用）に240円切手を貼り、自分の宛名と氏名を書いて申し込む。
- 2) 2部以上必要なときは1冊180グラムとして貼付切手を増やす。
- 3) 申込先：

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻海洋環境微生物学研究室

今井一郎 宛て

福代康夫（東京大学）・今井一郎（京都大学）